KI Sign

カテナスの
デジタルサイネージソリューション

KI Sign Editor で作る デジタルサイネージ

KI Sign Editor

LAN Manager

KI Sign Player

LAN Setting Tool

シナリオの新規作成（KI Sign Editor の操作例題）

1. 本チュートリアルの目的

本チュートリアルは、**KI Sign Editor** でシナリオを新規に作成することによって、

- シナリオを新規に作成する手順を理解する
- プランの役割を理解する
- テキストおよび画像のスタイル設定方法を理解する
- シーン作成を理解する
- シナリオ編成を理解する
- テロップの設定を理解する
- フォルダ監視（メディアフレーム）の設定を理解する

ことを目的にしています。

2. 例題シナリオ

例題として作成するシナリオは、ヘッダーおよびフッターの表示内容は固定で、メイン部分で３枚の画像がローテーション表示されるシナリオです。



3. 素材用フォルダー

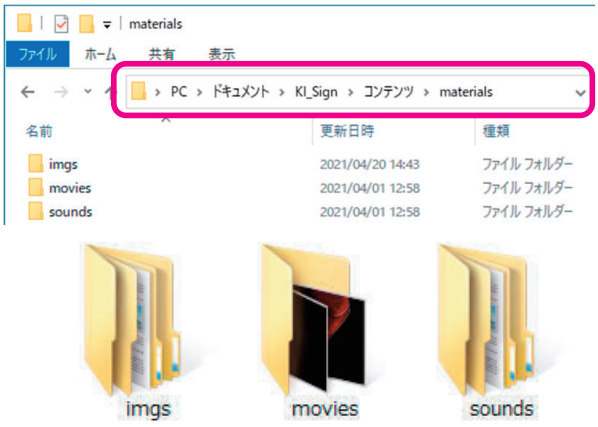
ソフトウェアをインストールした際、ドキュメントフォルダーに「**KI_Sign**」というフォルダーが作成されます。
直下にある「materials」というフォルダーに画像、動画、音ファイルを保存すると、シナリオ作成の素材として使用することができます。(Ctrl+i で「materials」フォルダーを開くことができます。)
本チュートリアルを進めるにあたって、このフォルダー内のサブフォルダー imgs の中に例題用の画像をコピーしてください。

＜初期設定のフォルダーパス＞
C:¥Users¥(自身のアカウント名)¥Documents¥KI_Sign¥ コンテンツ ¥materials

3-1. 使用できる素材のフォーマット

「materials」中には画像(imgs)、動画(movies)、音(sounds)の3つのフォルダーに分かれています。
サイネージ用に準備した画像、動画、音のファイルをそれぞれのフォルダーに格納してください。

素材（格納フォルダー）	使用できるフォーマット
画像ファイル（imgs）	jpg, jpeg, png, tif, tiff, gif, bmp
動画ファイル (movies)	wmv, mpg, mpeg, avi, mp4
音ファイル（sounds）	mp3, wav, midi



画像ファイル　動画ファイル　音ファイル

Point
- PDF ファイルは監視フォルダーにて表示可能
- Microsoft Office ファイルは PDF にエクスポートすることで監視フォルダーにて表示可能

4. シナリオの新規作成

[トップ画面]

操作手順

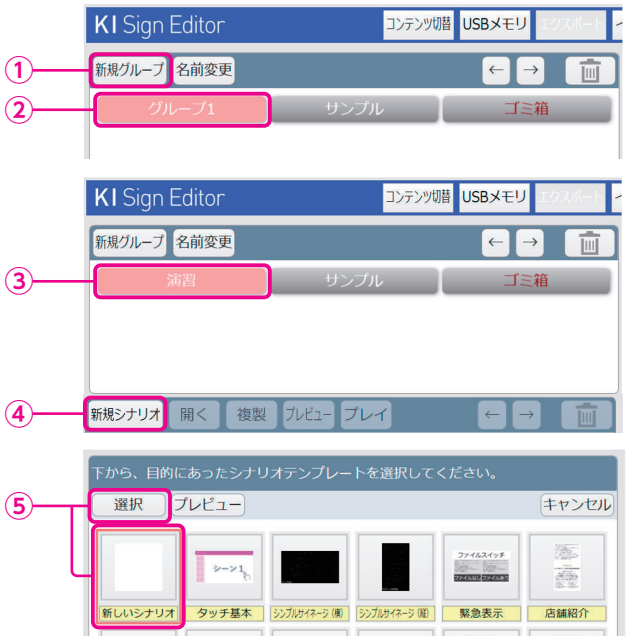
①**トップページ画面**左上の**新規グループ**をクリックする
※新たに[グループ1]が作成されます。

②**グループ1**を選択し、**名前変更**をクリックする

③枠内に「演習」と入力し、エンターキーを押す
※グループ名が「演習」に変更します。

④**新規シナリオ**をクリックする

⑤テンプレート一覧から**新しいシナリオ**を選択し、**選択**ボタンをクリックする
※**プラン画面**が開きます。



5. レイアウトの選択

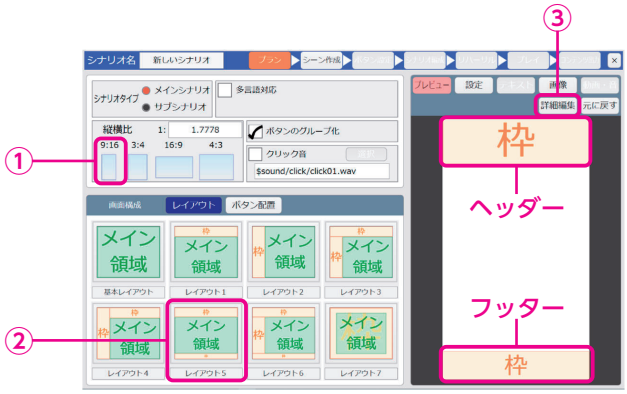
[プラン画面]

操作手順

①縦横比から**9:16**をクリックする

②レイアウト一覧から**レイアウト5**をクリックする

③**詳細編集**をクリックする
※詳細編集画面が開きます。
※シーンがローテーションしてもヘッダーとフッターが変わらない部分はプラン画面で設定をします。



6. レイアウト枠のサイズの調整、ボーダーの設定

[詳細編集画面]

操作手順

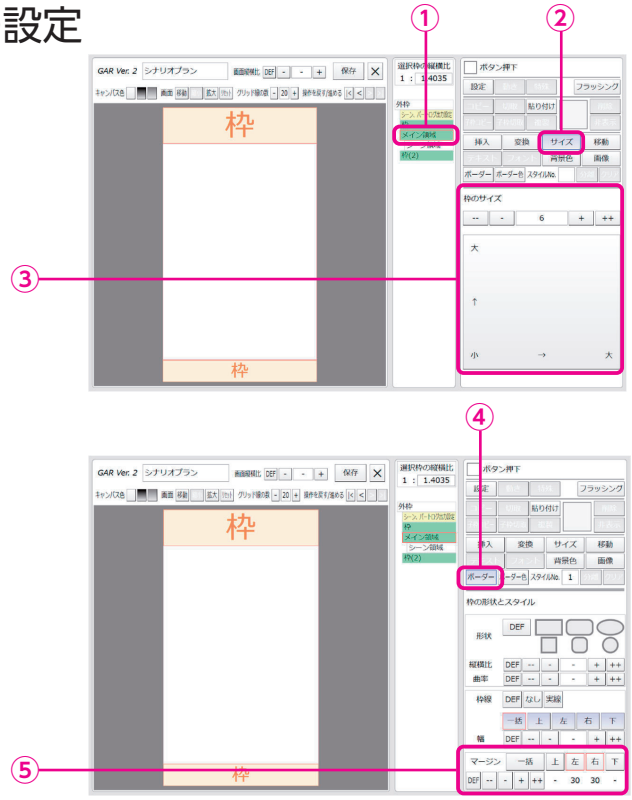
①枠一覧から**メイン領域**を選択する

②**サイズ**をクリックする

③枠のサイズの **−−**、**−**、**+**、**++**ボタンをクリックする
※例では数値を**6**に設定します。
※手入力で数値を入力するか、または調整パッド上でマウスをドラッグ＆ドロップすることによってもサイズを変更することができます
※メイン領域のサイズ変更に合わせて、ヘッダーとフッターのサイズも自動的にサイズが調整されます。

④**ボーダー**をクリックする

⑤マージンの**左**、**右**を選択し、下の **−−**、**−**、**+**、**++**ボタンをクリックして数値を設定する
※例では共に**30**に設定します。



シナリオの新規作成(KI Sign Editorの操作例題)

7. 背景色の設定、ヘッダーへの画像の設定

[詳細編集画面]

操作手順

①枠一覧から**外枠**を選択する

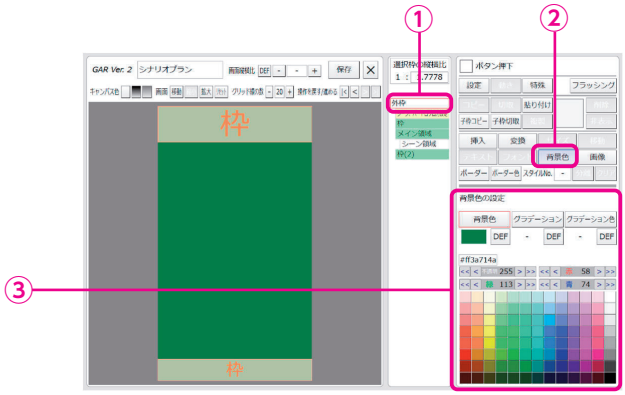
②**背景色**をクリックする

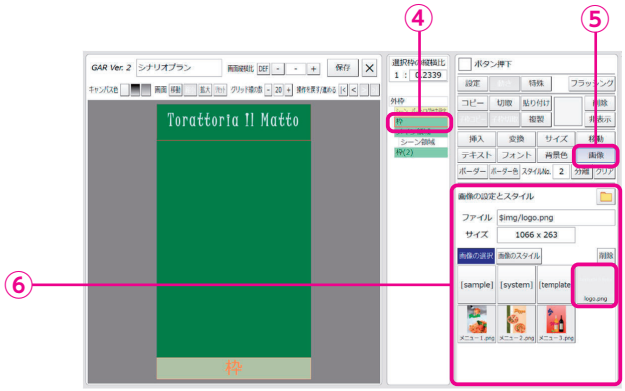
③カラーパレットまたは数値(不透明、赤、緑、青)から背景色を設定する
※例では赤58、緑113、青74に設定していますが、何色でも構いません。

④枠一覧から**枠**を選択する

⑤**画像**をクリックする

⑥画像一覧から「logo.png」を選択する





8. フッターへの自由枠の挿入、フッターのテキストの設定 (1/2)

[詳細編集画面]

操作手順

①枠一覧から**枠(2)**を選択する

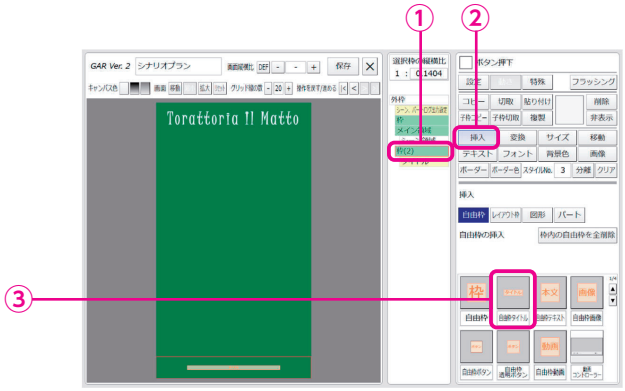
②**挿入**をクリックする

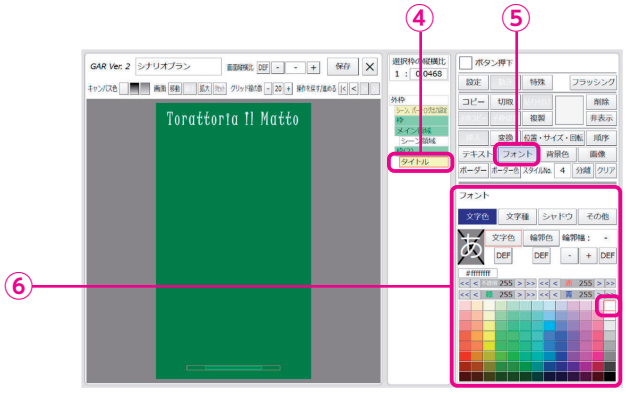
③自由枠一覧から**自由枠タイトル**を選択する

④枠一覧から**タイトル**を選択する

⑤**フォント**をクリックする

⑥カラーパレットからフォントの色を選択する
※例では右上の白を選択します。





次ページにつづく

8. フッターへの自由枠の挿入、フッターのテキストの設定 (2/2)

［詳細編集画面］

操作手順(つづき)

⑦**テキスト**をクリックする

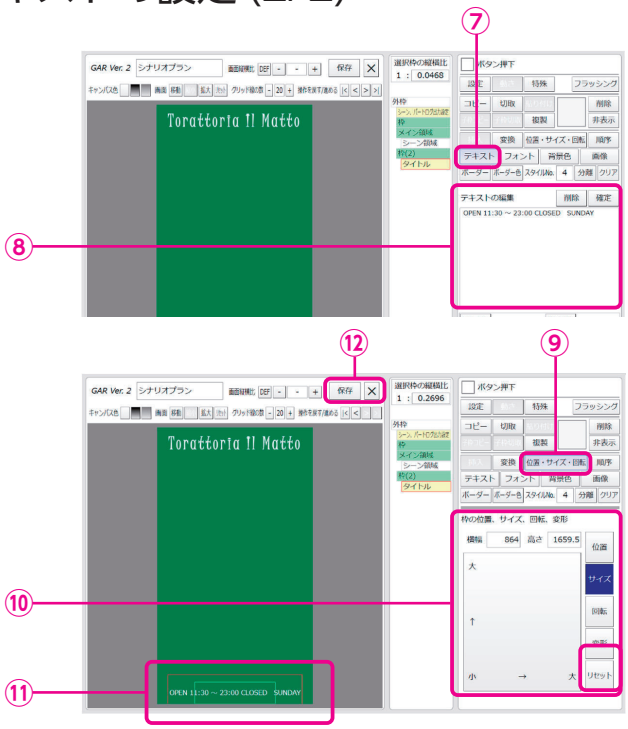
⑧テキストの編集のボックス内に入力する
※例では「OPEN 11:30 ～ 23:00 CLOSED SUNDAY」と入力します。

⑨**位置・サイズ・回転**をクリックする

⑩**サイズ**をクリックする

⑪緑枠と赤枠の間をドラッグして文字のサイズを調整する
※緑枠の内側をドラッグすると枠自体の位置を調整できます。

⑫**保存**をクリックし、☒をクリックして編集画面を閉じる
※シーン作成画面に戻ります。



9. 枠の扱い

KI Sign Editor では、画面をひとつの枠と考えて、その枠内に複数の枠を挿入・配置して、それぞれの枠に文字や画像やボタンを表示していきます。
枠の種類は以下の種類があり、枠構造の表示で色分けされています。

枠の種類	内 容
外枠	**全体の枠**（この枠に各枠を入れていきます。）
枠	上下に重なる**レイアウト枠**、または**ボタン**
枠	左右に重なる**レイアウト枠**、または**ボタン**
枠	**自由枠**、または**ボタン**
図形	**図形枠**（星型や矩形のベクトル図形の枠で、自由枠と同じように重ね合わせられます。）
パート	**パート枠**

基本的な枠表示の例

図① レイアウト枠

画面に上下２つの枠を挿入して、上の枠には文字を、下の枠には画像を表示しています。
このように上下または左右に並べた枠を、**レイアウト枠**と呼びます。

図②③ レイアウト枠（挿入、サイズ）

画像を表示している枠の下にもうひとつ枠を挿入して、別の画像を表示すると、図②のように３つの枠が均等に配置されます。このとき、真ん中の枠の大きくすると、図③の様に上下の枠が小さくなり、全体が再調整されます。

図④ レイアウト枠（挿入方向）

上の例では、枠を上下に並べていますが、枠を左右に並べるときにも、それぞれ自動調整されます。また、枠の中に更に枠を挿入することもできます。この例では、全体が横３列の枠で構成されて、左側の枠の中に更に３つの枠が挿入されています。

図⑤ 自由枠

これらの枠を隣同士に並べる形で挿入する方法は、複数の枠が重なるように画像や文字を表現することはできません。そのような場合には**自由枠**を使用します。
この例では、複数のレイアウト枠に重ねるように自由枠を挿入して、画像を表示しています。



図①



図②



図③



図④

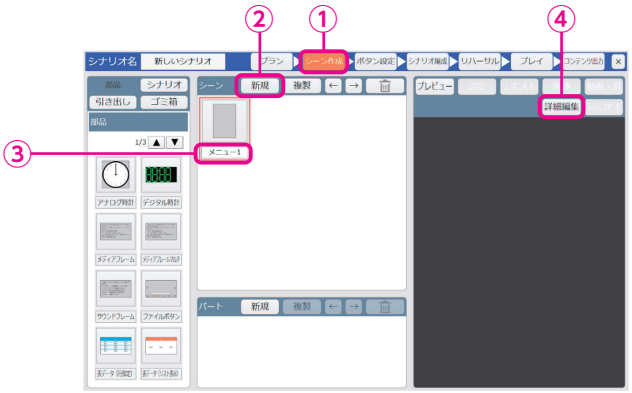


図⑤

シナリオの新規作成(KI Sign Editorの操作例題)

10. シーンの新規作成

[シーン作成画面]



操作手順

①**シーン作成**をクリックする

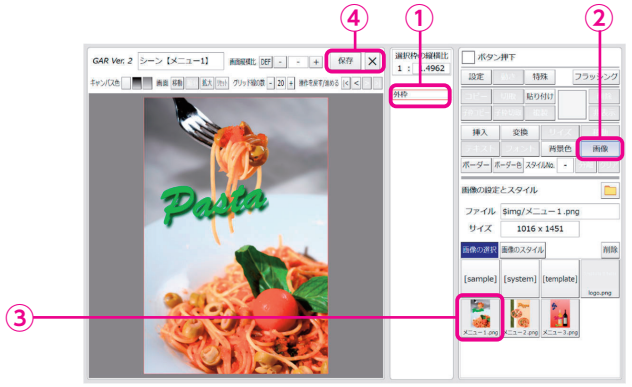
②**新規**をクリックする

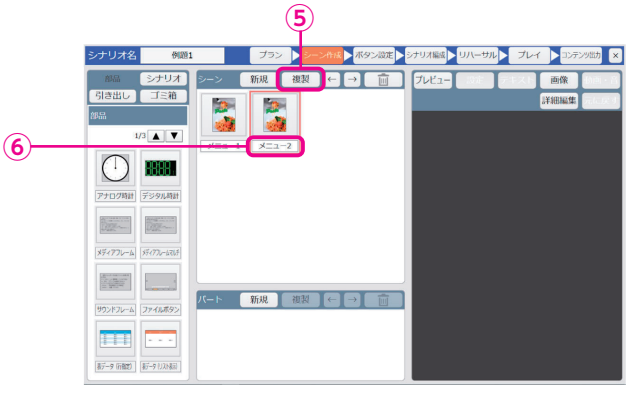
③作成された新規シーンのタイトル枠に名前を入力する
※例では「メニュー1」と入力します。

④**詳細編集**をクリックする
※詳細編集画面が開きます。

11. シーンへの画像の指定、シーンの複製

[詳細編集画面] [シーン作成画面]





操作手順

①枠一覧から**外枠**を選択する

②**画像**をクリックする

③画像一覧から画像を選択する
※例では「メニュー1.png」を選択します。
※画像が表示されない場合は、「**3-1. 使用できる素材のフォーマット**」で指定されたフォルダに画像が格納されているか、またはフォーマットが異なるファイルが保存されているかなど確認してください。

④**保存**をクリックし、☒をクリックして編集画面を閉じる
※シーン作成画面に戻ります。

⑤複製したいシーンを選択し、**複製**をクリックする

⑥複製されたシーンのタイトル枠に名前を入力する
※例では「メニュー1-2」→「メニュー2」に変更します。

12. 画像の簡易設定

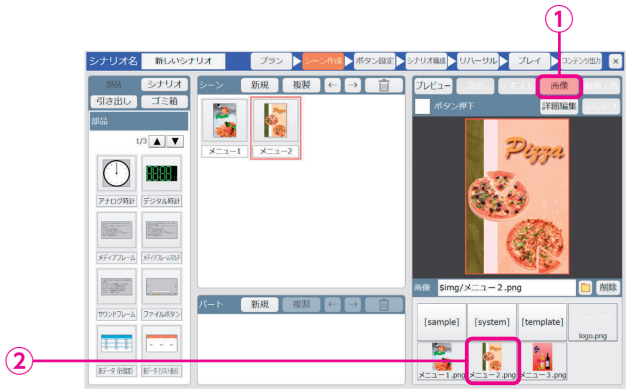
［シーン作成画面］

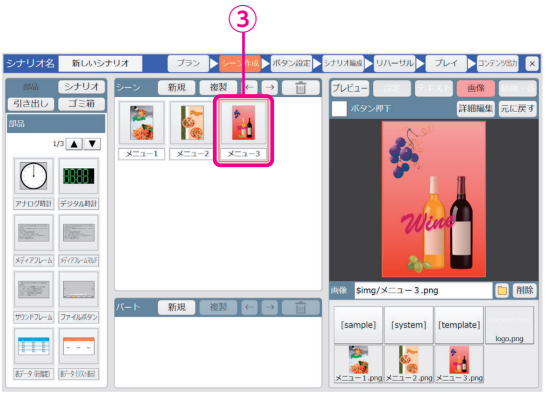
操作手順

①**メニュー2**を選択した状態で、**画像**をクリックする

②画像一覧から画像を選択する
※例では「メニュー2.png」を選択します。

③メニュー2と同様の手順でメニュー3を複製し、画像一覧から画像を選択する
※シーンの複製「11. シーンへの画像の指定、シーンの複製」
※例では「メニュー3.png」を選択します。





13. シナリオ編成、リハーサル

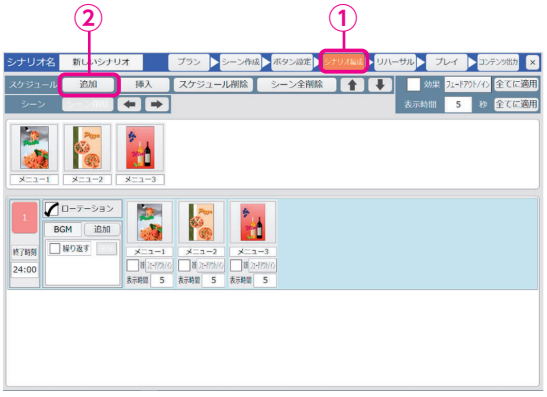
［シナリオ編成画面］［リハーサル画面］

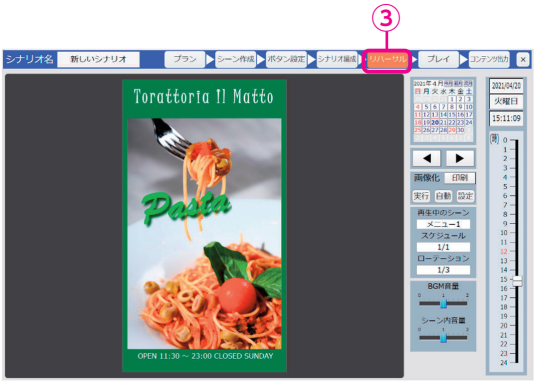
操作手順

①**シナリオ編成**をクリックする
※シナリオ編成画面が表示されます。

②**追加**をクリックする

③**リハーサル**をクリックする
※作成したシナリオのリハーサルが開始します。
メニュー画像3つがローテーションしていることを確認してください。





14. テロップ枠の追加

[詳細編集画面]

操作手順

①**プラン画面**からテロップを入れるシナリオの**詳細編集画面**を開く

②枠一覧から**枠(2)**を選択する

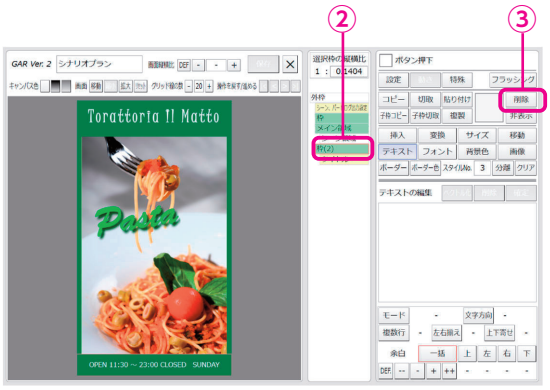
③**削除**をクリックする

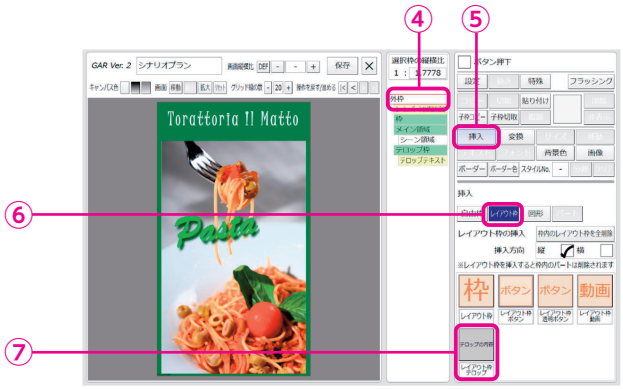
④枠一覧から**外枠**を選択する

⑤**挿入**をクリックする

⑥**レイアウト枠**をクリックする

⑦レイアウト枠一覧から**レイアウト枠テロップ**を選択する





15. テロップ枠の設定

[詳細編集画面]

操作手順

①枠一覧から**テロップ枠**を選択する

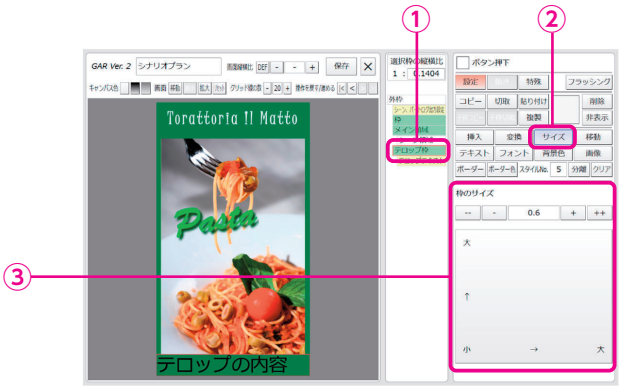
②**サイズ**をクリックする

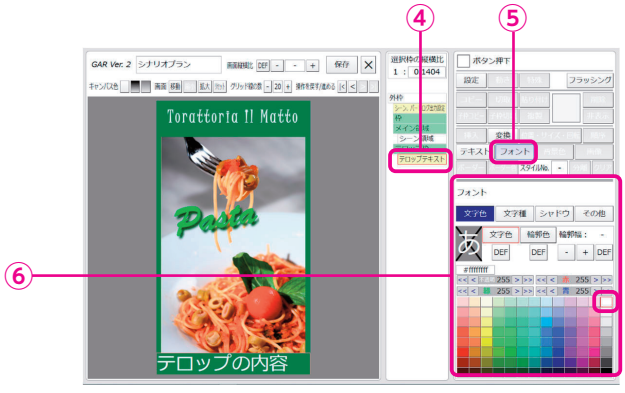
③枠のサイズの **−−**、**−**、**+**、**++**ボタンをクリックする
※手入力で数値を入力するか、または調整パッド上でマウスをドラッグ＆ドロップすることによってもサイズを変更することができます
※例では数値を**0.6**に設定します。

④枠一覧から**テロップテキスト**を選択する

⑤**フォント**をクリックする

⑥カラーパレットからフォントの色を選択する
※例では右上の白を選択します。





16. テロップ用テキストファイルの作成

[パソコン操作]

操作手順

①メモ帳などのテキストエディタを起動する

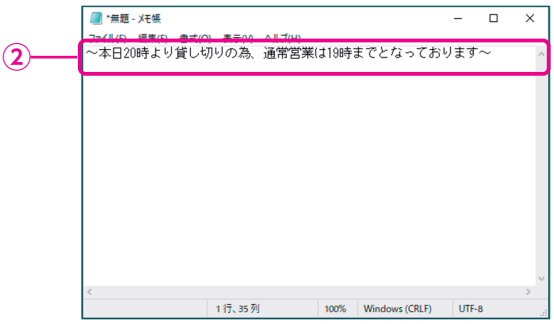
②テロップとして流す文章を入力する

③**ファイル**より**名前を付けて保存**を選択する

④任意の保存先フォルダーを指定する
※例ではファイル名を「例題1」にします。

⑤文字コードの選択肢を表示し、**UTF-8(BOM 付き)**を選択する

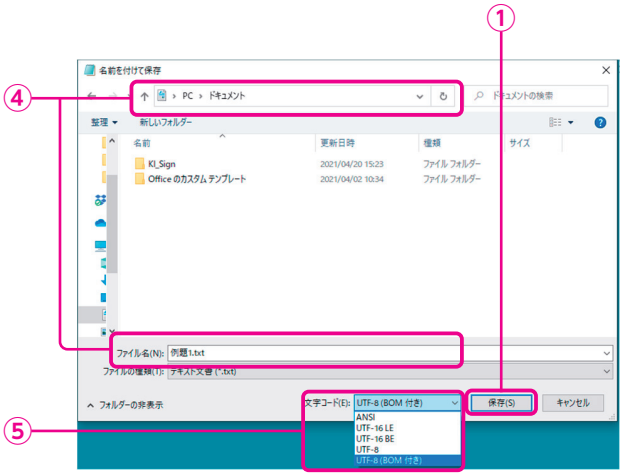
⑥**保存**をクリックし、テキストエディタを閉じる





Point

文字コードが「Shift-JIS」「UTF-8(BOM 付き)」以外の場合、表示されるテロップが文字化けしてしまうので、新規にテキストファイルを作成する際は注意してください。



シナリオの新規作成（KI Sign Editor の操作例題）

17. テロップの監視フォルダー設定

［詳細編集画面］

操作手順

①枠一覧から**テロップ枠**を選択する

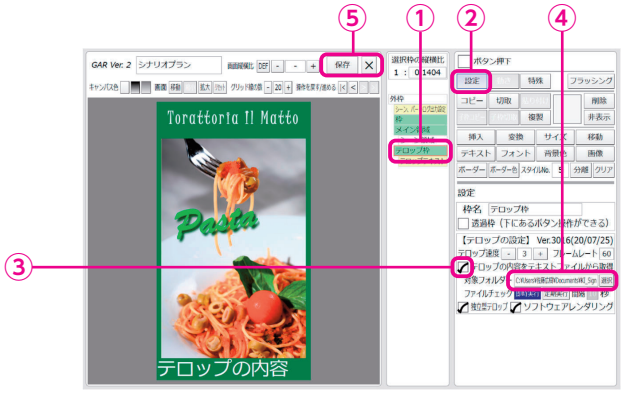
②**設定**をクリックする

③**テロップの内容をテキストファイルから取得**のチェックボックスをオンにする

④対象フォルダーの**選択**をクリックして、先ほどテキストファイルを保存したフォルダーを選択する

⑤**保存**をクリックし、☒をクリックして詳細編集画面を閉じる
※シーン作成画面に戻ります。

⑥**リハーサル**をクリックする
※テロップが表示されていることを確認します。
プラン画面でテロップの設定をしているのでシーンが切り替わっても常に表示されます。



Point

指定フォルダー内にテキストファイルが無い、またはテキストファイル内に記載が無い場合はテロップエリア自体が表示されなくなります。



テキストファイル無しの場合はテロップエリア自体が表示されない

18. シナリオの複製

［リハーサル画面］［トップページ画面］

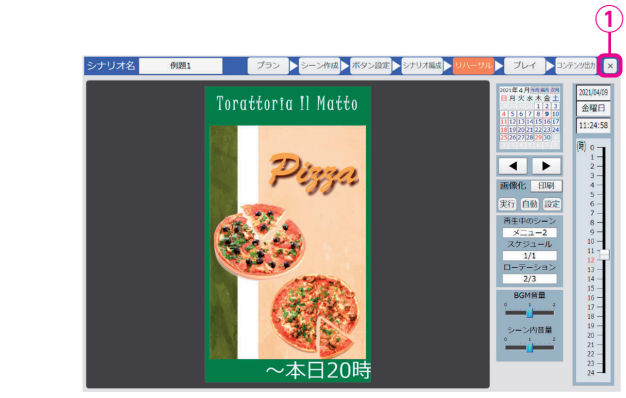
操作手順

①☒をクリックしてリハーサル画面を閉じる
※トップページ画面に戻ります。

②**新しいシナリオ**のタイトル枠にシナリオ名を入力する
※例では「例題1」と入力します。

③複製するシナリオを選択し、**複製**をクリックする

④複製されたシナリオの名前を確認する
※例では「例題1」を複製し、「例題1-2」となります。
複製すると自動的に名前が連番でつけられます。





19. フォルダー監視の準備

[シーン作成画面]

操作手順

①シナリオを開く
※例では「例題1-2」を開きます。

②部品一覧から**メディアフレーム**をシーンへドラッグ＆ドロップする

③**シーン一覧**からシーンを選択する
※例では「メニュー１」を選択します。

④**ゴミ箱**ボタンをクリックする

⑤**シーン一覧**から他のシーンも選択し、③④同様の手順で削除する
※例では[メニュー2][メニュー3]を削除します。

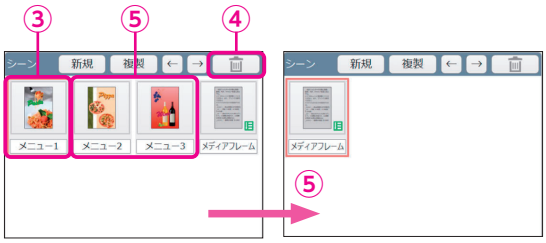
⑥**シナリオ編成**をクリックする

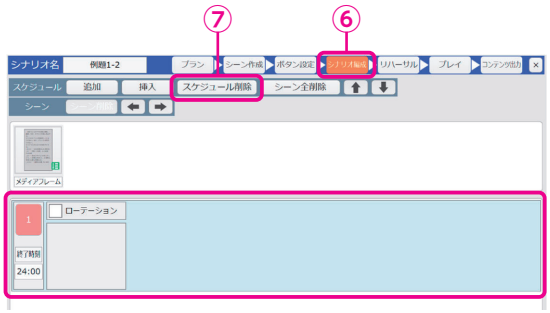
⑦シーンを含まないスケジュールが選択された状態で**スケジュール削除**をクリックする

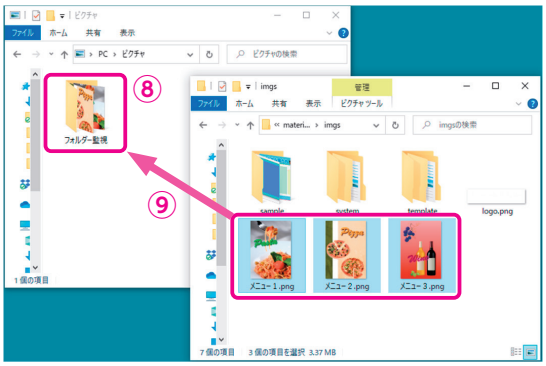
⑧任意のフォルダー内に新規フォルダーを作成し、名前を入力する
※例では「フォルダー監視」と入力します。

⑨作成したフォルダーへ表示させたい画像をコピーする
※例では「メニュー 1.png」～「メニュー 3.png」をコピーします。









Point

メディアフレーム（フォルダー監視）を利用することで指定したフォルダー内の画像を表示させることができます。これにより KI Sign Editor 上でシーンを追加したシナリオを再度作成しなくても、指定フォルダー内の画像を差替えるだけで表示画像の即時変更が可能となります。

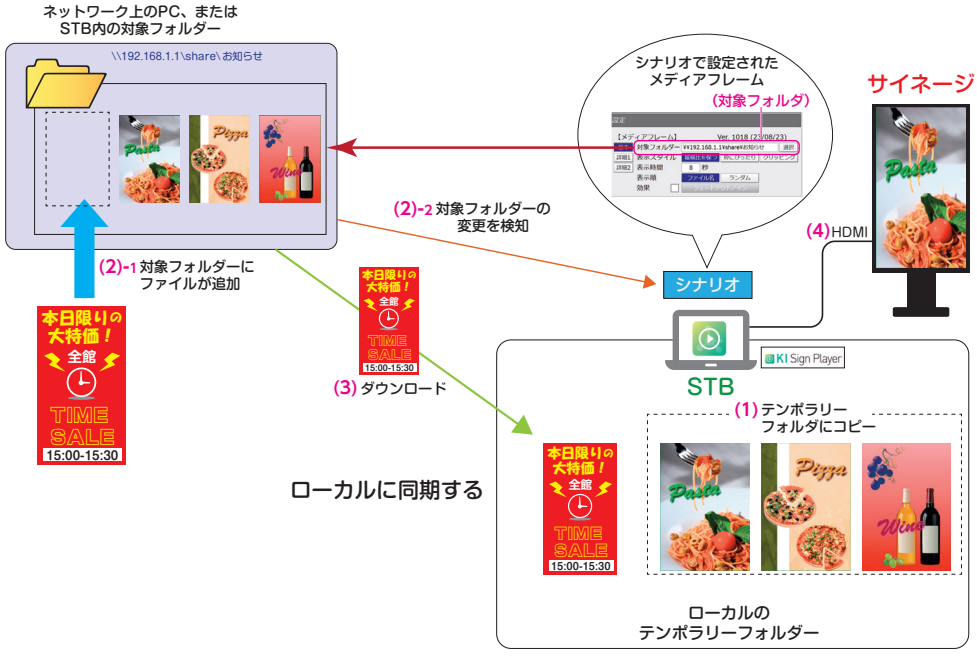
[フォルダー監視のイメージ図]

(1)対象フォルダーのファイルを、ローカルのテンポラリフォルダーにコピーします。

(2)指定された対象フォルダーのファイルが更新（追加、削除、変更）したとき、イベントを検知します。

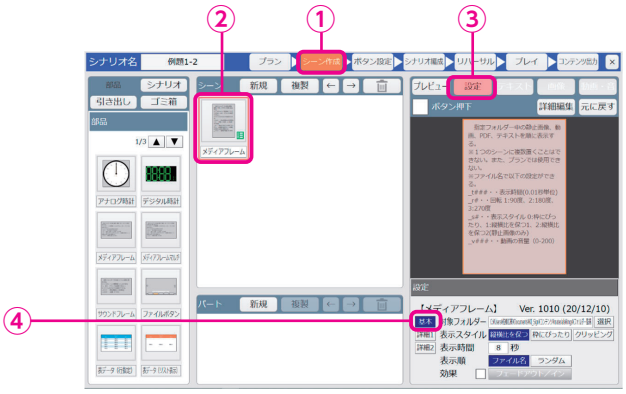
(3)ローカルのテンポラリフォルダーを更新された対象フォルダーのファイルと同期します。
※対象フォルダーからダウンロードします。

(4)シナリオに従って、テンポラリフォルダーのデータを取り込み表示します。



20. フォルダー監視（メディアフレーム）の設定

［シーン作成画面］



操作手順

①**シーン作成**をクリックする

②**シーン一覧**から**メディアフレーム**を選択する

③**設定**をクリックする

④**基本**をクリックする

⑤**対象フォルダー**の**選択**をクリックして、先ほど作成した
フォルダーを選択する
※例では **19. フォルダー監視の準備**⑧で作成した
「フォルダー監視」を選択してください。

⑥表示時間を入力する
※例では「5」を入力します

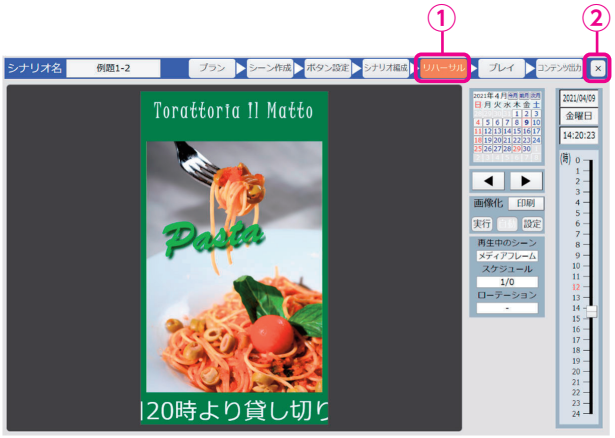


Point

メディアフレームの各種設定は
基本 / 詳細 1/ 詳細 2 の **3 画面**あります。
詳細は次ページの
22.【補足】フォルダー監視（メディアフレーム）の設定を確認してください。

21. フォルダー監視の利用

［リハーサル画面］



操作手順

①**リハーサル**をクリックする
※リハーサル画面が開きます。
※設定した画像がローテーション表示されていることを
確認してください。

②☒をクリックする
※シナリオを閉じます。
※以上で例題は終了です。

22.【補足】フォルダー監視（メディアフレーム）の設定（1/3）

[基本]



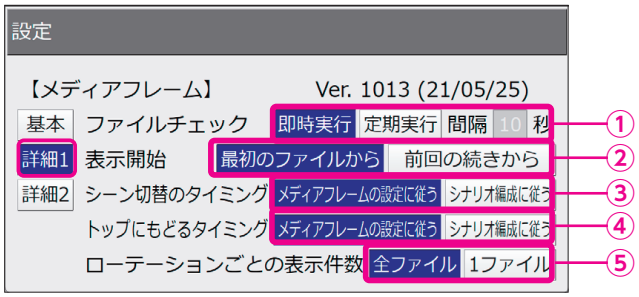
設定	内容
①対象フォルダー	監視するフォルダーのパスを指定します。ネットワーク上に存在する共有フォルダーを指定することで、同一ネットワークにある各プレーヤーの表示内容を同時に変更することができます。（**20. フォルダー監視（メディアフレーム）の設定** ⑤参照）
②表示スタイル	**「縦横比を保つ」**、**「枠にぴったり」**、**「クリッピング」**から指定します。 それぞれのスタイルについては**下記**を参照してください。
③表示時間	監視フォルダー内の画像やテキストをそれぞれ何秒ずつ表示するかの設定です。 動画ファイルの場合は適用されません。
④表示順	ローテーション表示する画像や動画の順番です。 **ファイル名**：対象フォルダー内の素材をファイル名順に表示します。 **ランダム**：　対象フォルダー内の素材をランダムに表示します。
⑤効果	ファイルからファイルへローテーションを行う際の表示効果を設定します。 ただし、効果は動画ファイルには適用されません。 ※チェックボックスチェックをオンにすると横のボタンから素材の表示効果を設定することができます。

[②表示スタイル]

設定	内容	イメージ
縦横比を保つ	画像は縦横比を保ったままで表示枠内に収まるように表示されます。 画像の左右、あるいは上下に空白が生まれる場合があります。	
枠にぴったり	画像は表示枠にぴったり収まるように表示されます。 余白は無くなりますが、表示枠の縦横比と画像の縦横比が大きく異なる場合があり、画像が大きく変形して表示されます。	
クリッピング	縦幅と横幅のうち小さい方に合わせて画像の中央を表示します。画像は縦横比を保ちながら、表示枠に余白ができないように表示されます。縦横比は維持されるため、画像の上下または左右が切り取られて表示される場合があります。 動画の場合は適用されず縦横比を保つスタイルで表示されます。	

22.【補足】フォルダー監視（メディアフレーム）の設定（2/3）

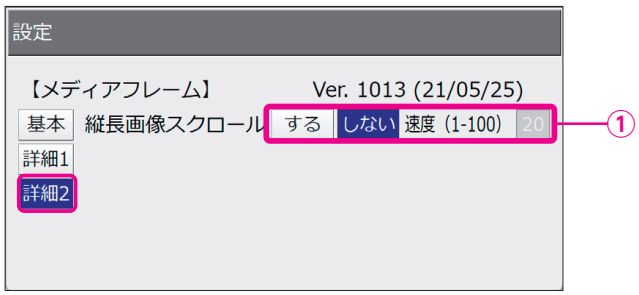
［詳細 1］



設定	内容
①ファイルチェック	監視するフォルダーのファイルチェック間隔を設定します。 **即時実行**：監視フォルダーに変更が発生したタイミングでチェックします。 **定期実行**：指定した間隔でファイルをチェックします。 ※即時実行でファイルの変更が通知されない場合、定期実行を利用してください。
②表示開始	**最初のファイルから**：シーンを表示するたびに、フォルダー内のファイル名順で最初のファイルから表示します。 **前回の続きから**：このシーンが前回表示されたときに表示されていたファイルの次のファイルから表示されます。
③シーン切替のタイミング	**メディアフレームの設定に従う**： メディアフレームがシーンに直接挿入されている場合には、シナリオ編成においてこのシーンの表示時間を設定していても、フォルダー内の画像などのローテーション表示が終わるまで待って、次のシーンに移動します。ただし、メディアフレームがパートとして挿入されている場合にはこの設定は無視されます。 **シナリオ編成に従う**： シナリオ編成で設定した表示時間でローテーションします。
④トップにもどるタイミング	**メディアフレームの設定に従う**： メディアフレームがシーンに直接挿入されている場合、シナリオ編成で設定したトップにもどる時間に関わらず、メディアフレームの一巡条件を満たした場合にトップシーンにもどります。 **シナリオ編成に従う**： シナリオ編成で自動的にトップにもどる時間に設定した秒数でトップシーンにもどります。
⑤ローテーションごとの表示件数	**全ファイル**：対象フォルダーに指定したフォルダー内の対象ファイル全てをローテーション表示します。 **１ファイル**：対象フォルダーに指定したフォルダー内の対象ファイル１ファイルを表示します。 メディアフレーム自体をローテーション表示し、表示開始を前回の続きからに設定することで、フォルダー内の対象ファイルを１順につき１ファイルずつ表示することが可能です。

22.【補足】フォルダー監視（メディアフレーム）の設定（3/3）

[詳細 2]



設定	内容
①縦長画像スクロール	横長枠に縦長画像がフォルダーに存在する場合にスクロール表示を**する**、**しない**を設定します。 画像が表示領域よりも縦長の場合、画像上部から画像下部に向かってスクロール表示します。（下図にイメージ参照） スクロールを有効にすると、どの表示設定を選択していても、クリッピングが適用されます。 また表示時間の設定に関わらず、スクロールが完了してから次の素材に切り替わります。 スクロールが不要な画像は設定した表示時間通りに次の素材に切り替わります。
②速度	①を**する**にした場合、縦長画像をスクロールする際の速度を指定します。 数字が小さいほどゆっくり、大きいほど速くスクロールします。

⑪縦長画像スクロールのイメージ

縦長画像





23. アップロード・配信

［トップページ画面］［LAN Manager 画面］

操作手順

①シナリオ一覧からシナリオを選択する
※例では「例題1」を開きます。

②**アップロード**をクリックする

③**アップロード**をクリックする

④デスクトップにある 

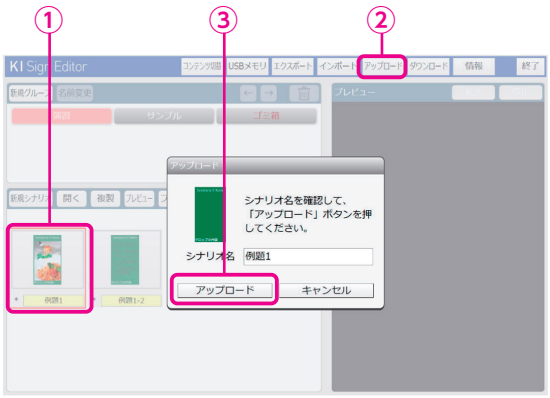
をダブルクリックして、
LAN Managerを起動します。

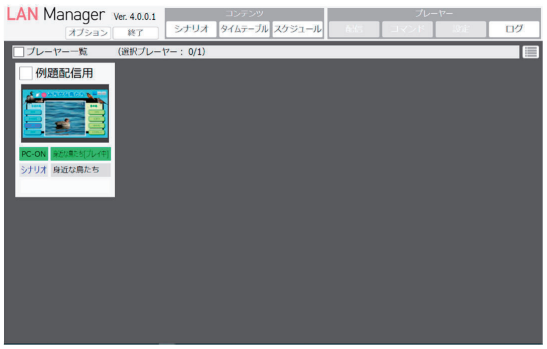
⑤配信を行うプレーヤーを選択する
（選択されると「✓」マークがつきます。）

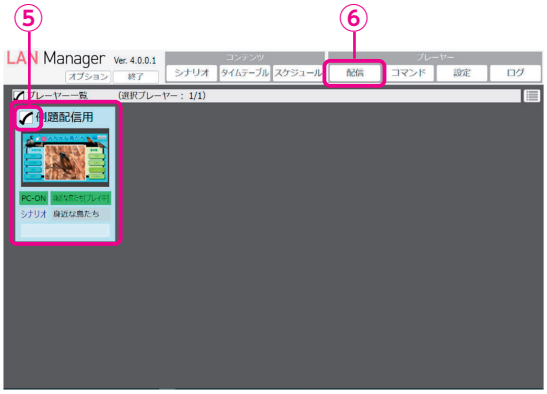
⑥**配信**をクリックする

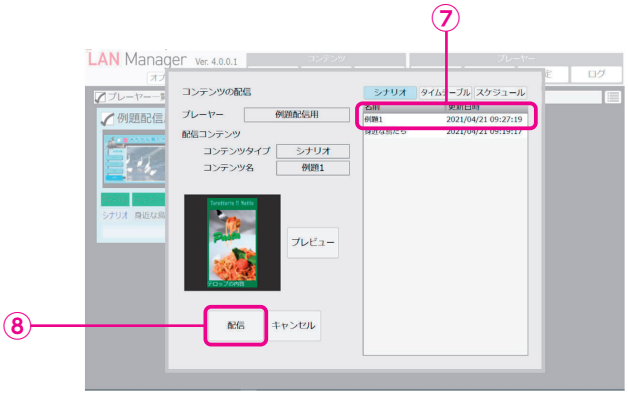
⑦①でアップロードしたファイルを選択する
※例では「例題1」です。

⑧**配信**をクリックする
※配信先に指定したプレーヤーに画像がローテーション
表示されていることを確認します。









テキスト、ファイル名の書式

24. タグを使ったテキスト表示

■フォント色　<style color="red"> 文字 </style>
"#aarrggbb"、"#argb"、"#rrggbb"、"#rgb" でも指定可能。

■フォント背景色　<style bgcolor="blue"> 文字 </style>
"#aarrggbb"、"#argb"、"#rrggbb"、"#rgb" でも指定可能。

■フォントサイズ　<style size="1.2"> 文字 </style>
<style size="**"> ～ </style> の外側にあるフォントのサイズがサイズの基準となる。
1 より大きい場合は、フォントが上の行に重なったり、枠外にはみ出したりする場合がある。

■イタリック　<style fontstyle="italic"> *文字* </style>
"italic"：イタリック、"normal"：通常、"oblique"：強制的にイタリック表示する（フォントがイタリック体を持っていない場合に使用）。

■アンダーラインなど　<style decoration="underline"> 文字 </style>
"underline"：アンダーライン、"overline"：上線、"strikethrough"：取り消し線、"baseline"：基準線（ベースライン）。

■フォントの太さ　<style weight="700"> **文字** </style>
"1" ～ "999"、または、"thin"：100、"extralight"：200、"ultralight"：100、"light"：300、"normal"：400、"regular"：400、"medium"：500、"demibold"：600、"semibold"：600、"bold"：700、"extrabold"：800、"ultrabold"：800、"black"：900、"heavy"：900、"extrablack"：950、"ultrablack"：950。

■フォントの種類　<style family=" ＭＳ 明朝 "> *文字* </style>

25. フォルダー監視 - ファイル名設定

①表示時間（0.01 秒単位）
表示時間を指定します。
書式：_t###
例）：画像を 5 秒表示⇒ sample_t500.jpg

②回転
回転させる角度を指定します。
書式：_r###（回転 1:90 度、2:180 度、3:270 度）
例）：画像を９０度回転⇒ sample_r1.jpg
※独立型動画では適用されません。

③表示スタイル
表示スタイルを指定します。
書式：_s#（0: 枠にぴったり、1: 縦横比を保つ 1、2: 縦横比を保つ 2）
例）：枠にぴったり⇒ sample_s0.jpg

④動画の音量
動画の音量を 0 から 200 の範囲で指定します。
書式：_v###（0-200）
例）：音量 200 ⇒ sample_v200.wmv

⑤有効期間
ファイルの有効期間を設定します。
書式：_fr[開始日時]、_to[終了日時]
[開始日時]、及び、[終了日時] は、12、8、6、4、2 桁の数値で指定可能です。それぞれの指定値による内容は以下の通りです。
12 桁：yyyyMMddHHmm
8 桁：MMddHHmm
6 桁：ddHHmm
4 桁：HHmm
2 桁：mm
また、[終了日時] の桁数が [開始日時] の桁数より短い場合、内部処理によって、両者が同じ長さになるよう、[開始日時] を引用して [終了日時] が適用されます。(test_fr09081030_to1200.jpg → test_fr09081030_to09081200.jpg)
_fr[開始日時]、_to[終了日時] のいずれか一方のみを指定することができます。
ただし、この場合、[開始日時]、[終了日時] は 12 桁で指定する必要があります。

※02301200 のように、存在しない日時を指定した場合は、誤りとみなされ、表示されません。
※HHmm は、最大 2359 までで、2400 と指定すると、誤りとみなされ、表示されません。
※[開始日時] が [終了日時] より短い場合は、誤りとみなされ、表示されません。
例）：9 月 20 日 9 時から 9 月 21 日 17 時まで有効
⇒ test_fr201509200900_to201509211700.jpg

Microsoft、Windows、Excel および Windows Media は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

S2310-0A